



令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
全般	1	委員	御質問	計画の位置付け(4ページ)の健康づくりについての基本理念の共有に「高松市スポーツ推進計画」を入れていないのはどうしてか。★付の枠内に記載しているが、必要と思われる。	保健医療政策課	最終評価報告書の「3計画の位置付け」については、策定時のものを元に掲載することとしています。平成26年3月に本ビジョンが策定された時点では、「高松市スポーツ推進計画」は存在しておらず、平成28年度に策定されているため、★印枠内のとおり、「上記計画以外の環境や教育、スポーツなど、市民の健康づくりに関する計画等」としてしています。 しかしながら、次期計画においては、身体活動・運動分野においても、スポーツ推進計画との連動は、大変重要と考えております。健やかに生き生きとした生活を送るためには、適度な運動・スポーツを行うことが必要不可欠であり、また、生活習慣病予防や介護予防の面からも運動・スポーツは、生活の質の維持・向上に有効です。このため、次期計画には、スポーツ推進計画を含めた関連計画との関係が分かりやすく見えるよう検討してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
全般	2	委員	御意見	全ての「個別目標達成のため推進した主な取組」の「後期」の欄について「高松市健康都市推進ビジョン」の計画期間が1年延長されたため「令和6年」に変更すべきではないか。	保健医療政策課	<p>計画期間が令和6年度まで1年延長されましたが、最終評価は、令和5年度で行い、その結果をふまえ令和6年度に計画策定を行うこととしています。</p> <p>令和5年度末に公表予定の最終評価報告書(暫定版)では、令和5年10月末現在の値で最終評価結果を行っております。令和6年度7月頃公表予定の最終評価報告書(確定版)では、令和6年3月末値の最終評価結果が確定する予定です。このことから、「個別目標のため推進した主な取組」の「後期」については令和5年度までとしております。</p> <p>なお、計画期間が1年延長されましたが、目標値については、国・県においては変更は行わないとしていますので、本市においても同様の取扱いとしています。令和6年度の取組結果は、令和7年度に報告の予定としています。</p>


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
全般	3	委員	御質問	<p>「(1)健康寿命」が男女ともに延びている事は好ましい傾向だと思う。一方、「(2)生活の質」において、ほぼ全ての年齢において生活の質が悪化しているのが非常に気になる。「移動の程度」「身の回りの管理」「普段の活動」「痛み/不快感」「不安/ふさぎこみ」の全ての項目において「ない」が減少し「ある」が増加しています。</p> <p>また「(3)現在の健康状態」においても「良い」が減少し、「あまり良くない」が増えている。健康寿命が延びても生活の質や健康状態が悪化しては楽しい人生とは言えない。これらの要因・背景は何であるか、教えてください。</p>	保健医療政策課	<p>御意見のとおり、健康寿命が延長しても、生活の質や健康状態が悪化しては、10年前に立てた本市の目指す姿としての目標「全ての市民が共に支えあい、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」が達成できているとまでは言えないと考えます。</p> <p>生活の質の指標が低下した要因・背景は、社会的な要因があるものとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、長引く経済的不調とデフレマインド、高齢化が寄与していると考えられます。</p>


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
全般	4	委員	御意見	自分の健康に注意できる時間が必要なので、DXによる生産性の向上は必要と考えます。	保健医療政策課	本市では、デジタル社会形成基本法等において示されているデジタル社会の形成に向けた国の考えを踏まえて、全ての市民がまちづくりの主役であり、デジタル技術の活用によって時間や場所の制約から解放された多様な主体が協働し、一人一人の多様な幸せや、誰もが公平に活躍できる機会を創出していくことができるまち「フリーアドレスシティたかまつ(FACT)」を目指すために「スマートシティたかまつ推進プラン(2022-2024)」に基づいた取組を推進しています。 今後の健康づくりに関する取組においても、これらの取組と整合性・連携された事業の推進を検討してまいります。
方策1 生活習慣の改善 (1) 栄養・食生活・食育	5	委員	御意見	数年前から市委託事業として野菜たっぷり生活講座を実施していたが、残念ながら野菜摂取量は改善していない。特に若者世代、働き世代では、「野菜の利用法の知識が乏しい」「調理の手間をかけたくない」等が要因の一つと思われる。	健康づくり推進課	国、県とも改善できていない状況です。特に、食生活に課題が多いと言われている若い世代や働き世代への、効果的な取組について検討してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (1) 栄養・食生活・食育	6	委員	御意見	主食・主菜・副菜の組み合わせや栄養のバランスを考えて食べている人の割合が減少しているのは、若年、老年を問わず、一人暮らしの世帯が増加していることも原因と考える。一人暮らしのための食育等も、必要な時代になっていると思う。	健康づくり推進課	ライフスタイルなどの多様化により、単身でなくても食事については「個食」や「孤食」等の課題があると言われています。世代別のみならず、ライフスタイルに応じた食生活改善のポイント等の周知啓発について検討してまいります。
方策1 生活習慣の改善 (1) 栄養・食生活・食育	7	委員	御意見	食事は栄養補給だけでなくコミュニケーションを円滑にする効果を伸ばすことはできないか。より良い食事、運動、睡眠の継続は、楽しみながら改善する必要がある。	健康づくり推進課	共食をする(誰かと一緒に食事をする)ことや孤食(ひとり食)をしないことは、「自分が健康だと感じていること」「健康な食生活」「規則正しい食生活」「生活のリズム」と関係していると言われています。食卓を囲み、食事をとりながらコミュニケーションを図ることは食育の原点であり、食の楽しさを実感できる大切な機会であることから、引き続き、共食の重要性についての周知を図るほか、具体的な取組について検討してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (1) 栄養・食生活・食育	8	委員	御質問	26ページ記載のヘルシーたかまつ協力店の具体的な内容および協力店の件数を教えてください。30ページも関連する。	健康づくり推進課	登録内容につきましては、次の5項目のうち、2つ以上の取組をいただいている店舗になります。 1 健康に配慮したバランスのよいメニューの提供 2 利用者の要望に応じた取組 3 健康づくり情報の提供 4 野菜摂取を応援する取組 5 食塩の過剰摂取への取組 登録店舗数につきましては、令和5年11月末現在で148店舗になります(令和4年4月1日登録基準改正)。
方策1 生活習慣の改善 (1) 栄養・食生活・食育	9	委員	御意見	⑧常に栄養のバランスや食事の量を考えて食べるようにしている人の割合の増加について、27ページ記載の「後期(令和元年度~令和5年度)の取組」にエシカル消費(地産地商)を取り入れた献立表を作成し、定期的にネット配信を取り入れたら良いと思う。	健康づくり推進課	ライフスタイルの多様化やICTの進展等から、食育活動においてもデジタルツールを活用した情報発信は重要であると考えおり、今年度、「高松産ごじまん品」を活用したレシピの動画作成を食生活改善推進協議会に委託し、配信したところです。今後も、デジタルツールを積極的に活用し、地産地消レシピ等配信してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (1) 栄養・食生活・食育	10	委員	御質問	食生活改善推進員活動について、今後の課題として挙げられている、今後の環境整備の方針について説明をお願いしたい。現在、身近な所での活動が確認できていない。我が地区の推進員の組織体制は、コミュニティ協議会の健康福祉部会所属になっているものの、具体的な取り組みが為されていないように思える。地産地消活動やゼロカーボンシティをめざして食生活関連活動と連携した活動も考えているのかどうか、教えてください。	健康づくり推進課	食生活改善推進員活動については、主に市内それぞれの地区で料理講習会を中心に活動いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での活動が思うようにできない状況でもありました。今年度から、少しずつ活動が再開されておりますが、会員の減少等により以前のような活動が難しいところもあると聞いております。地産地消や食べきりをテーマとしたレシピを通して食生活改善の啓発を実施してまいりましたが、今後、更なる周知啓発が重要であると認識しております。デジタルでの配信等も活用しながら、より多くの市民の方へ周知啓発が届けられるよう支援してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活 習慣の改善 (1) 栄養・ 食生活・食育	11	委員	御意見	学校給食用の野菜材料について、数年前には可能であった大豆や黒豆の利用について、生野菜(穀物)としての利用が現在は不可になっているが、元に戻し収穫品をそのまま使用する様にはできないかどうか。地産地消に繋げる意味で有効な手段と考える。	保健体育課	学校給食を衛生的に調理提供するために、文部科学省が示している「学校給食衛生管理基準」に基づき調理作業を行っていますが、この基準の中には、『給食の食品は、原則として、前日調理を行わず、全てその日に学校給食調理場で調理し、生で食用する野菜類、果実類等を除き、加熱処理したものを給食すること』とされています。そのため、長時間浸漬して茹でる(もしくは蒸す)豆類(乾燥豆)のような食材は、衛生的な管理が大前提の大量調理では、取り扱いが難しいものと存じます。現在、一部の調理場では、地元で収穫された長さやそら豆を中学生にさやむきしてもらい、給食に使用させていただいており、今後も取り組んでまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (2) 身体活動・運動	12	委員	御意見	各地区において「健康づくりウォーキングマップ」が作成されており、素晴らしい取り組みだと思う。ただ、1つの地区におけるルート数が少なく、すぐに飽きてしまいそうである。近隣地区に出かけるとしても限界がある。とても手間のかかる作業だとは思いますが、地区の人の力を借りて、もっとたくさんのルート図を作って頂きたい。	健康づくり推進課	「健康づくりウォーキングマップ」は、平成29年度作成し、以降の更新はできておりません。作成に当たっては、地域コミュニティ協議会及び保健委員会の御協力の下、市民の皆様が地域で慣れ親しみ、活用されている身近なウォーキングコースを取りまとめております。今後は、地域コミュニティ協議会や保健委員会の御意見を聞きながら、「健康づくりウォーキングマップ」の更新を含め、健康アプリとの連携も視野に、市民の皆様が身近で活用できる方策を検討してまいります。 また、高松スポーツ・健康感謝祭では、保健委員会連絡協議会とともに「冬場も歩こう！健康づくりウォーキング」を開催し、高松市総合体育館を発着とした約5kmのコースを歩いているところです。今後も、市民の皆様が楽しく参加できるウォーキングイベントを開催してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活 習慣の改善 (2) 身体活 動・運動	13	委員	御意見	高松スポーツ・健康感謝祭におけるウォーキングイベント「屋島ブッシュウォーク」や「屋島シーサイドウォーク」のような、少しハードなウォーキングイベントは、とても楽しく健康増進にも大きな効果があると思うため、今後も色々と企画してほしい。	スポーツ振 興課	次期高松市スポーツ推進計画において、「スポーツによる健康増進」を基本施策として位置付けており、ウォーキングは気軽に始めることができ、健康増進や運動習慣化に寄与する有効な運動の一つと考えます。今後も、関係団体と連携し、企画を検討してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (3) ところの健康・休養	14	委員	御意見	38頁に「今後は、若者を中心とした啓発をより拡充する」とあり、とても必要なことだと思う。その中で、高校や大学に繋がっていない若者こそ、まずは調査に繋がるとよりよいと考える。(調査がランダムなら勿論含まれてくるが、どの年代も健康状態等が回答率へ影響する部分があるかもしれない。)啓発活動としては、通信制高校等へ通っている若者へは届ける方法があると思う。また、全日制の高校・大学へは繋がっていない・繋がりにくい若者たちへ届ける方法も皆さまで試行錯誤し続けたい。そうすることで、より高松市全体の健康づくりに関する実態把握や目標達成のための取り組みを行うことができると思う。	保健医療政策課 健康づくり推進課	【保健医療政策課】 本ビジョンの進捗状況や、健康づくりに関する市民の意識やニーズの変化などを把握することを目的として毎年度実施している「高松市民の健康づくりに関する調査」の対象者は、「住民基本台帳を基に、18歳以上の市民から無作為抽出した男女3,000人」としています。このため、18歳以上の高校生・大学生が調査の対象者になっている可能性はあります。 【健康づくり推進課】 若者への啓発として、高松市内の中学3年生全員に対し、夏休み明けに「ところの体温計」のチラシを配布しているほか、高松市内の高校文化祭において、ところの健康に関するパネル展示等を行っています。また、高松市ホームページの「二十歳の扉」のページに、ところの健康(ゲートキーパー、ところの体温計、飲酒・ネット・ギャンブル依存)について掲載しており、「二十歳のつどい」の案内状の中で、本ページについて紹介を行っています。 さらに、通年で、瓦町フラッグのトイレに掲示物を設置しているほか、令和5年度には、新たにさぬき高松まつりにおいて、パネルによる啓発を実施しました。 以上の啓発事業については、対象者や内容について毎年検討を重ねているところです。いただきました御意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (4) 飲酒	15	委員	御意見	使用する用語について、アルコールのグラム表示は理解しづらい。商品の容量表示で記載すると、理解促進に繋がると思う。	健康づくり推進課	日本では、酒類は酒税法の関連法でアルコールの度数を容器に表示することが義務付けられていますが、他の多くの国では、飲酒量を純アルコール量に換算してわかりやすく表示する方法がとられています。令和3年3月、国が策定した「第2期アルコール健康障害推進基本計画」により、酒類大手各社は、これまでのアルコール度数に加え、アルコール量の「g・グラム」表示へと動き始めています。なお、商品の容量表示での記載については、商品によってアルコール度数が異なるため、目標項目としては、統一した表記が難しいことから、グラム表示としています。今後、いただいた御意見を踏まえ、啓発、健康教育等の機会を通して、より分かりやすい飲酒教育に努めてまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (4) 飲酒	16	委員	御意見	飲酒に関するアルコールチェッカーの義務化は健康に対して活かすことはできないのか。	健康づくり推進課	アルコール検知器を用いた運転者の酒気帯びの有無の確認については、道路交通法施行規則の改正に基づき、業務使用の自家用自動車における飲酒運転防止対策を目的とするものであります。また、安全運転管理者による運転者の運転前後のアルコールチェックの義務化(2023年12月1日から)について、警察庁からの通達により対象事業所が実施されているところであります。 「アルコールチェックの義務化を健康づくりに活かす」という御意見につきましては、今後の飲酒における健康問題を考えるうえで、参考にさせていただきます。
方策1 生活習慣の改善 (5) 喫煙	17	委員	御意見	重点目標の「たばこを吸う人の割合は減少」してきたが、COPDの認知度は非常に低いです。当たり前のように、「COPD」と記しても、市民の皆さんには、病名が理解出来ていないのではないかと。COPD「慢性閉塞性肺疾患」と明記すべきではないかと思う。喫煙者等へのCOPD重症化予防は非常に大事なことである。	健康づくり推進課	啓発の折には、COPD(慢性閉塞性肺疾患)と併用表記をしておりますが、御指摘の通りCOPDの認知率は低く、苦慮しています。現在、世界禁煙デーなどの健康週間に合わせたパネル展・広報・SNS等を活用した啓発を中心に行っておりますが、今後はさらに正しい知識の啓発に努めてまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (5) 喫煙	18	委員	御意見	タバコの臭いは環境から衣服に移り、さらには衣服から他者への不快感に繋がるので、分煙環境自体にも更なる配慮が必要ではないか。	保健医療政策課	タバコの臭いや3次喫煙(サードハンド・スモーク)といった「残留タバコ成分」等の新しい概念や健康影響も問題化されていることから、「望まない受動喫煙」をなくすためにも、令和2年4月施行の「健康増進法の一部を改正する法律」に基づく受動喫煙対策を引き続き実施してまいります。
方策1 生活習慣の改善 (5) 喫煙	19	委員	御意見	「香川・タバコの害から健康を守る会」の皆さんが、小中学校に出前講座として出向き、たばこの害がどのようなものか喫煙の怖さ等を知ってもらい、絶対に1本のたばこを吸ってはいけない。また、吸わさないの活動はとても素晴らしい。たばこについて学ぼう~私たちの健康な未来のために。	保健医療政策課	香川県健康福祉総務課が香川県予防医学協会(「香川・タバコの害から健康を守る会」)へ委託して実施しております「禁煙・受動喫煙対策のための出前講座」事業と存じます。未成年期からの喫煙は健康影響が大きいと、児童・生徒への喫煙防止教育は、重要と考えます。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (6) 歯と口腔の健康	20	委員	御質問	総合評価Aというのは、最終評価1というのがないためか、教えてください。	保健医療政策課	総合評価については、評価1(悪化)を除く、評価2から5までの割合を合計しその値を、総合判定A(概ね改善されている。改善した項目が80%以上)、総合判定B(目標は未達成な部分もあるが、目標を達成するための事業が実施されている。改善した項目が60~80%)、総合判定C(目標は未達成であり、事業実施も十分とはいえない。改善した項目が60%未満)としています。 (6) 歯と口腔の健康には、評価1がなく評価2~5の割合が100%となり総合評価がAとなっています。詳細は15ページの表中に示すとおり、評価項目2(0~60%)の割合が73%を占めていることが分かります。
方策1 生活習慣の改善 (6) 歯と口腔の健康	21	委員	御意見	資料2 ⑤過去1年間に歯科健診を受けた人の割合の増加を★重点項目にはできないか。	健康づくり推進課	現在、策定中の県の「健やか香川21ヘルスプラン」(第3次)での指標も考慮し、検討してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策1 生活習慣の改善 (6) 歯と口腔の健康	22	委員	御意見	健康寿命を延ばすためには健康診断だけでなく、歯科の定期健診も定着させる必要があるのではないか。	健康づくり推進課	現在、本市では高松市歯科医師会の御協力のもと、節目年齢を対象とした成人歯科健康診査を実施しております。歯科医療機関での歯科健康診査時の問診・診察・口腔保健指導を通して、対象者の市民の方に、自宅でのセルフケアとともに、定期的健診の重要性の理解をいただけるよう、市歯科医師会の御協力のもと定期的に内容を見直し、作成した啓発ちらしを受診勧奨通知に同封して啓発強化を図っております。今後も市歯科医師会と連携を図り、効果的な啓発に取り組んまいります。
方策1 生活習慣の改善 (6) 歯と口腔の健康	23	委員	御意見	109ページの「歯と口腔の健康」のNo.47の節目年齢について全て5歳サイクルに出来ないのかどうか。	健康づくり推進課	本市成人歯科健康診査は、平成8年度より40歳の方を対象に開始し、国の動きに合わせながら、市独自の事業として年齢を拡大して現在に至っています。現在、国の健康増進事業に位置付けられ、補助金を受けながら、歯周病検診の対象年齢である40・50・60・70歳に加え、市独自に30・65歳を対象として拡充してきました。今後も国の動きを注視してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 (2)循環器疾患	24	委員	御意見	⑤メタボリックシンドローム該当者の割合の減少(国保40~74歳)、⑦特定健康診査受診率の向上(国保40~74歳)の最終評価が低いのが懸念される。高松市でも目標達成のために様々な取り組みをされているようなので残念である。高松市薬剤師会でも来局者やイベント参加者への声掛け等、啓発活動を行っていききたいと思う。	国保・高齢者医療課	啓発活動等の取組、大変ありがとうございます。 特定健康診査受診率について、新型コロナウイルス感染症による受診控えが影響していたと考えられますが、政府目標の60%は下回っているものの、令和4年度は43.9%であり、令和3年度の市町村国保における特定健康診査受診率の平均値36.4%は上回っております。また、メタボリックシンドローム該当者の割合については、協会けんぽ等を含む保険者全体でみても、増加傾向にあるといえます。 本市としては、特定健康診査や特定保健指導に関する勧奨手法の工夫や利便性の向上に努め、数値の改善を目指します。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 (3) 糖尿病	26	委員	御意見	人工透析のレセプト分析については、市民にわかるような注釈付記が望ましいと思う。	国保・高齢者医療課	人工透析のレセプト分析についてですが、国保データベースシステム(KDBシステム)から確認できるデータになります。新規透析導入患者の原疾患(透析に至った原因となる疾患)は、糖尿病性腎症が原疾患の第1位を占めていることから、人工透析を行っている方のうち、糖尿病の疾患名がついている方の割合をみるデータとなるため、糖尿病の指標としています。今後注釈付記を追加してまいります。
方策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 (3) 糖尿病	27	委員	御意見	県民のソウルフードであるうどんは県内県外問わず、既にブランド化されている。県内には香川県産の野菜ブランドにもっとフォーカスし、自然とうどんの割合を置き換えることで、糖尿病の対策とするのはいかがか。その後、県外に対してもブランド化でき、香川県から近隣に拡大できる可能性がある。	健康づくり推進課	「高松産ごじまん品」などの地元農産物を活用した取組として、食生活改善推進協議会に委託している料理講習会や、野菜摂取量増加を目的とした市民参加型の事業において、高松市農産物ごじまん品推進協議会に協賛いただき「高松産ごじまん品野菜等詰め合わせ」などを賞品とし、地元野菜の活用を推進しております。今後も引き続き、野菜をたっぷり食べること、また、地元産野菜等の活用について積極的に推進してまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進 (1)次世代の健康	28	委員	御意見	人間関係の問題は様々な団体の中にもあり、精神的な不具合を生じることも少なくない。幼少期から自己認知能力を高め、人間関係を円滑にする内容があつて良いのではないかと思う。	健康づくり推進課	方策1(3) ころの健康・休養 における取組で、「ころの健康セミナー」で実施したテーマとして、令和3年度の「思春期の心~自尊心を育む子育てとは~」、令和4年度の「思春期・青年期のころ~子どもと家族が生き抜くために~」、令和5年度の「共感するということ~精神科医が語るコミュニケーション術~」等があり、これらのテーマは、いただきました御意見の「人間関係を円滑にする内容」を含むものと考えます。 「ころの健康セミナー」は、市民の方であればどなたでも参加いただける教室でありますので、今後も、ころの健康に関する様々な内容をテーマとして実施する予定です。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進 (1)次世代の健康	29	委員	御意見	やはり高松市内の子供達は肥満が多く、痩せすぎが強調されても心身の成長に良くないと思う。小児生活習慣病予防検診における二次検診受診者数の改善率の向上も低い数値となっていることから、保護者へのより一層の周知啓発が必要だと思う。	保健体育課	小児生活習慣病予防検診は2学期に行われ、その結果、有所見及び栄養指導対象と判定された児童生徒を対象に、2学期末の懇談会等の保護者が来校する機会に、栄養教諭及び養護教諭が面談等を行っています。その際、児童生徒本人や保護者が記入した生活習慣調べ等をもとに個人カルテを作成し、食習慣や生活習慣に応じた栄養指導、保健指導を実施しています。その後3か月程度、よりよい生活習慣を心掛けて過ごしていただき、春休み前に二次検診の受診依頼を行っていますが、感染症の拡大状況によっては医療機関への受診を控えることも考えられます。引き続き個別の保健指導等を通して二次検診の受診を働きかけてまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進 (1)次世代の健康	30	委員	御意見	82ページの「個別目標達成のため推進した主な取組」の「後期」の欄に、学校のワークの一環としてラジオ体操を導入(義務付け)してはどうか。	保健体育課	前期及び後期の取組に挙げている「体力向上プラン」は、毎年、各小中学校がそれぞれの実情に応じて目標や取組内容を決定し、それに基づいて取り組んでいるものです。今回、「1週間の総運動時間60分未満の子どもの割合の減少」で目標値が達成できなかったのは、コロナ禍により運動や外出の機会が減ったことの影響も考えられます。令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、各校が計画した取組も計画的な実践が可能となることから、目標値が達成されることも十分に考えられるため、現時点においては、学校のワークの一環としてラジオ体操を導入(義務付け)することは必要がないものと存じます。引き続き「体力向上プラン」等に取り組んでまいります。


令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進 (1)次世代の健康	31	委員	御意見	<p>どの年代でも様々な予防が大切であり、子ども若者向け・若者を対象とした、「元気を広げる人(介護予防ボランティア活動)」のような活動も、もう少し多くあるとよいと思う。例えば「子どもの未来応援コーディネーター」もそのような部分に当たる活動と思うため、「元気を広げる人」の活動ぐらいに「子どもの未来応援コーディネーター」も地域における(自主的な)活動等に参加していけるとよい。まずは地域での認知度に関する部分などで協働できる可能性もあるかもしれない。また、乳幼児へは保健師の訪問があるが、幼稚園・小学校入学後や15歳以上でも何らかの形の訪問支援的な活動も充実するとよいと考える。例えば、地域社会との繋がりがなかったり、リストカットやオーバードーズのある子ども・若者も困っているため、私たち大人に何かできるか試行錯誤している。大学受験などのプレッシャーとストレスで体調を崩す方もおり、高校生の方の責任だけではないと思う。</p> <p>15歳までは義務教育ということで、少なくとも学校の繋がりのあるが、中学卒業後の繋がりがなかなか難しい現状があり、取組に時間も多少必要かと思うが、乳幼児や高齢者への支援が充実してきた部分を、若者世代へも同じように広げていけるとよいと思う。</p>	地域共生社会推進室	<p>「子どもの未来応援コーディネーター」は、「子どもの貧困対策コーディネート事業」の中で、関係機関・団体等からの子どもの貧困対策(対応)について相談に応じるとともに、関係行政機関やNPO、企業、地域団体その他関係者との連携を図るため、ネットワークの構築を進めるため、配置しておりましたが、令和5年度から、新たに「ヤングケアラー支援事業」を開始し、「ヤングケアラー・コーディネーター」を配置したことに伴い、「子どもの貧困対策コーディネート事業」を終了し、「子どもの未来応援コーディネーター」も廃止しております。一方で、「子どもの未来応援コーディネーター」が担ってきた、子どもの貧困対策に関する関係機関等のネットワークづくりにつきまちは、「高松型地域共生社会構築事業」においても、多機関が協働して支援を行えるよう実施しており、「まるごと福祉相談員」分野や世代を問わず、お困りごとをお聞きし、適切な支援につなげるよう取り組んでいるところであり、子どもの問題などについても、SSW等教育機関とも連携し、対応しているところです。</p> <p>また、地域の課題につきまちは、地域福祉ネットワーク会議の中で協議・検討していただいております。地域における活動への参加についても、地域共生社会の実現に向けた取組の中で、既存の地域づくり事業を核としつつ、多世代が交流できるよう、取組の幅を広げていこうとしているところです。</p>

令和5年度高松市健康づくり推進懇談会 事前アンケート内容と回答

資料3	令和5年度高松市健康づくり推進懇談会	
	令和6年1月11日(木) 14:00~	
	高松市保健センター5階研修室	

高松市健康都市推進ビジョン最終評価報告書(暫定版)素案(資料1)及び目標項目一覧表(資料2)について、御質問や御意見がございましたら御記入ください。

分野	番号	委員名	区分	内容	担当課	回答
方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進 (2) 青壮年期の健康	32	委員	御質問	特定保健指導実施率について、目標値と最終値にかなりの乖離があるが、最終値が低かった理由(新型コロナ)などがあるのかどうか。もしくは目標値が高めに設定してあったのかどうか、教えてください。	国保・高齢者医療課	目標値は、国が市町村国保に求めている政府目標の60%に合わせているものですが、令和3年度の市町村国保の平均値は27.9%と、元々、政府目標は高めに設定されており、さらにコロナ禍において実施率が下がったことから、目標値と最終値の乖離が大きくなったものです。 現在、次年度からの特定健康診査等実施計画をデータヘルス計画と一体化して作成しているところですが、次期計画においても政府目標の60%を目標とし、引き続き、利用勧奨に取り組むほか、オンラインの保健指導の可能性も検討するなど、実施率の向上を図ってまいります。
方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進 (3) 高齢者の健康	33	委員	御意見	96ページの「個別目標達成のため推進した主な取組」の「後期」の欄に、ヘルメット着用の推進を取り入れてはどうか。	くらし安全安心課	当該欄には、令和元年度から令和5年度までの主な取組を記載しており、掲載事業において、自転車用ヘルメット着用も含め、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践について、幅広く周知啓発に取り組んでいるところです。